

# 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート

評価年度	令和元年度
------	-------

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立障害者支援センター松が丘園、相模原市立けやき体育館
指定管理者名	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立障害者支援センター条例、相模原市立けやき体育館条例
施設の設置目的	<p>【障害者支援センター松が丘園】                      障害者の自立と社会参加への参加を促進し、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条)                      障害福祉サービス事業の多機能型事業所(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援)及び地域生活支援事業の基幹相談支援センター等を実施</p> <p>【けやき体育館】                      障害者の健康の増進、機能の回復及び教養文化活動の促進を図り、もって障害者の福祉の向上に寄与する。(条例第2条)</p>
施設概要	<p>【障害者支援センター松が丘園】                      所在地：相模原市中央区松が丘1丁目23番1号                      ・1階：作業室、ケアルーム、相談室、保健室                      ・2階：作業室、相談室、食堂兼多目的ルーム、その他更衣室等                      ・3階：団体活動室、生活指導室、研修室                      敷地面積：2,388.00㎡                      延床面積：2,703.45㎡                      構造：鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階建</p> <p>【けやき体育館】                      所在地：相模原市中央区富士見6丁目6番23号                      敷地面積：4,058.72㎡のうち2,252.87㎡                      延床面積：1,723.37㎡                      構造：鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺2階建                      主な諸室：体育室、機能訓練室、更衣室、教養室、和室、教室</p>
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
松が丘園	多機能型事業所利用者数(人) (うち生活介護利用者数(人))	9,408(1,523)	9,410(1,535)	9,806(1,692)			
	一時ケア事業利用者数(人)	2,043	2,032	1,774			
	自立支援給付費合計(円)	86,465,172	81,735,341	100,595,386			
	利用者負担金合計(円)	4,196,163	3,990,150	3,853,180			
	収入総額(円)	454,102,139	464,160,239	360,339,529			
	支出総額(円)	345,985,068	463,833,759	360,339,529			
けやき体育館	利用者数合計(人)	67,135	60,325	58,259			
	障害者利用人数合計(人)	22,084	19,935	19,861			
	利用料金合計(円)	2,426,919	2,127,375	2,235,310			
	貸館率(%)	68.0	68.0	68.3			
	収入総額(円)	54,329,919	68,181,375	55,578,892			
	支出総額(円)	54,329,919	68,181,375	55,578,892			

### 3 成果指標の達成度

<b>指標 1</b>	<b>障害者支援センター松が丘園</b>						
指標名(単位)	年間就労者数 単位:人						
指標式と指標の説明	施設を利用し、就労する障害者が増えることにより、障害者の自立と社会参加が推進されるため、就労支援事業利用登録者のうち、一般就労に結びついた人数を成果指標とする。						
項目(人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	47	50	52	54	56	58	60
実績値(人)	67	62	88	/	/	/	/
達成度(%)	142.6%	124.0%	169.2%				

<b>指標 2</b>	<b>けやき体育館</b>						
指標名(単位)	障害者の年間延利用人数 単位:人 平成30年度まで:施設の年間利用回数 単位:回						
指標式と指標の説明	施設を利用する障害者が増えることにより、市内の障害者の健康の増進や教養文化活動の促進が図られるため、障害者の年間延利用者数を成果指標として設定する。						
項目(人)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	3,543	3,603	21,900	22,000	22,100	22,200	22,300
実績値(人)	3,620	3,623	19,861	/	/	/	/
達成度(%)	102.2%	100.6%	98.9%				

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月2日から31日まで休館

達成度は1か月間休館したことを考慮し、実達成度の90.7%に1.09(12/11)を乗じた数値とする。

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	<p>成果指標の達成度は134.1%(両施設の平均)であり、評価基準により「S評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘園】 目標値に対して高い実績値となっている。企業の障害者雇用への意欲の高まりを背景に、企業開拓や求人情報と求職者のマッチング機会の拡大等の積極的な働きかけを行った成果であり、高く評価できる。</p> <p>【けやき体育館】 令和2年1月までの利用実績は前年度を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用控えや3月2日からは休館となった。</p>

#### 4 事業の実施状況

市が指定する事業		障害者支援センター松が丘園	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
障害福祉サービスを行う事業	通年	年間利用者9,806人(生活介護1,692人、自立訓練3,520人、就労移行支援2,538人、就労継続支援B型2,056人) 生活介護のうち医療的ケア実施数1,492回(うち、人工呼吸器管理44回) 重症心身障害児者ネットワーク会議開催 就労者9人、職業評価実施10人、就労定着支援契約者24人	
基幹相談支援センター業務	通年	総合相談・専門相談 17,423件、スーパーバイザー派遣事業 100件、虐待防止・権利擁護に関する研修 6回、相模原市障害者自立支援協議会 36回	
障害者の就労を支援する事業に関する業務	通年	新規就労者88名、職場実習延べ233日	
障害者を一時的に介護する事業に関する業務	通年	登録者290人、年間利用者1,774人(うち、医療的ケアの必要な方75人・複数職員対応等他の事業所利用が難しい方300人)、障害者一時ケア事業所連絡会開催	
障害者の支援に関する事業に従事する人材の確保及び育成に関する業務	通年	研修開催51回、研修延べ参加者1580名 福祉のしごと相談会 令和2年1月24日開催	
けやき体育館との連携に関する業務	通年	けやきカフェを活用した体験実習 16件 障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できる就職情報コーナーの新設	

自主事業		障害者支援センター松が丘園	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
		自主事業なし	

市が指定する事業		けやき体育館	
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
障害者のスポーツ及び文化活動の支援に関する業務	通年	障害者スポーツ講座 13講座、44回、1,311人(うち障害者871人) ふれあい文化講座 11講座、16回、417人(うち障害者257人)	
障害者余暇活動支援事業の実施に関する業務	通年	イベント 9日間、649人(うち障害者255人) 障害のある方を対象とした個人開放(卓球・バドミントン・将棋)24回、275人(うち障害者162人) パラスポーツ普及啓発(各種体験会、訪問指導) 7日間 ポッチャ大会開催(参加チーム15チーム) ポッチャ大会は東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした新規事業	
障害者支援センターとの連携に関する業務	通年	施設支援事業との連携・レクリエーション支援研修(感染症対策のため中止) 就労援助事業との連携:けやきカフェでの障害者の実習受け入れ	

<b>自主事業</b>	けやき体育館		
<b>主な事業名</b>	<b>実施時期</b>	<b>内容・回数・参加者等</b>	<b>評価</b>
けやきカフェの経営	通年	けやき食堂をけやきカフェとしてリニューアル 松が丘園麦の穂のパンを取り入れたメニューの見直し 221日営業	

<b>評価（5評価）</b>	<b>評価理由・委員会意見</b>
<b>S</b>	<p>【障害者支援センター松が丘園】          成果指標については、目標値を大きく上回っている。生活介護事業では、全員が重症心身障害者で障害支援区分6の方を受け入れていることや基幹相談支援センター事業など、本市の障害者支援の中核的な役割を果たす専門性の高い事業を実施している。令和元年度は障害者一時ケア事業における医療的ケアの必要な方の受け入れ時間を午後8時まで延長時間（2時間延長）など、積極的な受け入れを行っており、評価できる。</p> <p>【けやき体育館】          昨年度までのプログラムに加え、パラスポーツ普及啓発のための体験会や訪問指導を実施することで、パラスポーツの普及啓発と障害への理解促進に努めた。</p> <p>また、自主事業となる「けやきカフェ」の運営については、メニューの見直しを図り、一日平均売上額が前年度を上回った。さらに、障害者支援センター松が丘園と連携して、就労体験の実習受け入れた。</p>

## 5 利用者の満足度

<b>利用者満足度調査</b>	<b>障害者支援センター松が丘園</b>
<b>調査手法/サンプル数</b>	多機能型事業所及び一時ケア事業の利用者を対象とした利用者満足度調査
<b>目標値の基準</b>	5段階評価のうち「満足」「まあ満足」と回答した人の割合の合計

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	91.1	91.7	92.3				
実績値（％）	95.0	97.5	96.0				
達成度（％）	104.3%	106.3%	104.0%				

<b>その他の取組</b>	<b>障害者支援センター松が丘園</b>	
<b>取組事項</b>	<b>時期</b>	<b>取組内容</b>
福祉研修センター受講者アンケート	随時	障害福祉基礎研修等の研修実施後、参加者にその都度アンケートを行い、満足度等を確認し、次年度の研修計画等の資料とした。
福祉オンブズマンの来訪	月/回	1回に2名程の相模原福祉オンブズマンが来所し、希望する利用者と一緒に面談を行う。福祉オンブズマンは、利用者から聞いた意見を施設側に伝え、施設側は利用者の意見を支援等に反映している。

<b>利用者満足度調査</b>	<b>けやき体育館</b>	
<b>調査手法/サンプル数</b>	施設利用者への満足度調査	
<b>目標値の基準</b>	満足度調査において「満足」「まあ満足」と回答した人の割合の合計	

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	91.1	91.7	92.3				
実績値（％）	97.8	97.2	89.3				
達成度（％）	107.4%	106.0%	96.7%				

その他の取組	けやき体育館		
取組事項	時期	取組内容	
		その他の取組なし	

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	<p>成果指標の達成度は100.4%（両施設の平均）であり、評価基準により「A評価」とする。          【障害者支援センター松が丘園】          多機能型事業所（生活介護事業、自立訓練事業、就労移行支援事業、就労継続支援B型事業、就労定着支援事業）及び一時ケア事業に満足している利用者は、ともに96%となり高い評価となっている。重度の障害者の受入れや就労支援では、多数の登録者がいる中で、高い評価を受けていることは、質の高いサービスを提供できていることが分かる。          【けやき体育館】          90%近い満足度となっており、特に職員対応への満足度が高い。一方、不満の理由としては、暑さ対策等施設の設備に関するものが多いが、大規模な改修を伴うことから早期に改善することは難しいため、扇風機の設置等により対策を図っている。</p>

## 6 施設の経営状況

### 障害者支援センター松が丘園・けやき体育館

施設の収支概要	直近3年間について記載			（千円）
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
収入（a）	538,076	532,342	415,918	
指定管理料	286,075	265,968	265,630	
利用料金収入	3,938	3,623	3,534	
その他の収入	248,063	262,750	146,754	
支出（b）	538,643	532,015	415,919	
人件費	253,092	269,557	268,345	
本社管理経費	0	0	0	
その他の支出	285,551	262,458	147,574	
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	-567	326	-0	
自主事業収入（d）	3,931	3,725	3,416	
自主事業支出（e）	3,931	3,725	3,416	
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	0	0	0	
全体収支 【(c)+(f)】	-567	326	-0	
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	<p>事業活動収支は15,764,943円である。その他の支出として他勘定への繰入を計上した結果、全体収支が±0となっているものであり、実質は本体収支及び全体収支ともに黒字であると考えられる。          団体本体としては、総資産・正味財産規模は充実している。資産流動性は良好であり、自己資本比率は高く、固定資産の中の積立資産の保有が多く、借入金依存度は低い。経営状況に課題はない。</p>

## 7 管理業務の履行状況

### 障害者支援センター松が丘園・けやき体育館

検査方法	施設所管課職員による現地確認及びヒアリング
実施時期	【障害者支援センター松が丘園】令和2年8月18日 【けやき体育館】令和2年8月20日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	法人の監査体制の強化を図った。	

## 8 指定管理者の自己評価

<p>【障害者支援センター松が丘園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今期指定管理期間から、新たに手話通訳者等養成事業が加わり、基幹相談センター等事業も再編し、強化を図った。</li> <li>・利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者一時ケア事業の利用者数及び福祉研修センター事業の参加者数で減少が見られたものの、多機能型事業所の利用者数、就労援助センターの年間就労者数、基幹相談センターの相談件数は、前年度より増加しており、年度末時点での影響は限定的と言える。通所系事業は、利用者の命と健康を第一に考えながら、徹底した感染予防対策を実施して、可能な限り通常事業の継続に取り組んだ。</li> </ul> <p>【けやき体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により、市の指示で3月2日から休館となり、貸館の休止と併せ、主催講座やイベント等も中止となった。1月までの障害者の利用延べ人数は、前年同期比10%増であり、成果指標は達成を見込める状況であった。</li> <li>・オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツ・文化活動・余暇活動の支援では、パラスポーツ普及啓発活動として、ポッチャ大会をはじめ、多くの体験会、訪問指導に積極的に取り組んだ。</li> <li>・自主事業であるけやきカフェをリニューアルし、松が丘園の「麦の穂」のパンの活用、メニューの一新などで、利用者の満足度向上に大きく寄与した。</li> </ul>
--

## 9 所管課意見

### 【障害者支援センター松が丘園】

- ・ 例年就労実績が目標値を上回っている点は評価できる。
- ・ 医療的ケアの必要な方の受け入れや基幹相談支援センター事業など、本市の障害者支援の中核的な役割を果たす専門性の高い事業を実施している点も評価できる。
- ・ 障害福祉サービス事業者への研修体制、福祉人材の確保や育成、高齢福祉部門との連携等、本市の課題に対して専門性を生かして取り組んでいただきたい。

### 【けやき体育館】

- ・ 事業計画どおり、スポーツ講座やふれあい文化講座などの障害者余暇活動支援事業等を実施するとともに、施設・設備の適切な維持管理が行われているため、引き続き、障害者の日常生活がより充実したものになるよう、工夫を凝らした講座の実施を期待する。
- ・ 当該年度の後半は新型コロナウイルス感染症の影響で利用控えや長期の休館があったが、利用者に迅速な連絡等を行い、大きな混乱もなく対応された点は評価できる。

## 10 選考委員会意見

### 【障害者支援センター松が丘園】

#### 【評価した点】

- ・ 高い専門性をもって事業を実施している。

#### 【今後期待する点等】

- ・ 松が丘園の知識や支援・技術等を市内の障害福祉サービス事業所等へ伝達・共有することで、市全体の障害者支援のスキルアップを図ること。
- ・ 限られた人員の中で専門性の高い事業を維持していくために、市と連携して随時事業見直しを図ること。

### 【けやき体育館】

#### 【評価した点】

- ・ 利用者満足度調査を活用して、より多くの障害のある方が利用しやすいよう工夫を凝らして余暇活動支援事業を実施している。

#### 【今後期待する点等】

- ・ けやきカフェの運営では、同法人が運営する障害者支援センター松が丘園の「麦の穂のパン」をメニューに取り入れるほか、同じく松が丘園から就労体験として実習生を受け入れており、2施設を同法人が運営しているメリットを最大限に生かしている。今後もこのメリットを生かし、更なる事業の展開を期待する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の対策を講じて、利用者が安心・安全に利用できるような施設運営を行うこと。（共通）

## 障害者支援センター松が丘園・けやき体育館

### 総合評価（自動判定）

S

(95/100)

